



College report

vol.12
2015.10

東京聖栄大学報

開学10周年特集



● C O N T E N T S ●

東京聖栄大学 開学10周年式典挙行／理事長・学長の祝辞…	2	学生支援センターの活動／地域共創・食育イベント／就職…	12・13
東京聖栄大学10年の歩み ……………	3	学友会／後援会・聖栄会／人事……………	14・15
10周年記念 式典・講演会／祝賀会 ……………	4・5	平成26年度決算報告 ……………	16・17・18
大学トピックス……………	6	教育研究施設設備拡充資金……………	18
卒業式・入学式……………	7	大学附属わたなべ幼稚園／大学附属調理師専門学校…………	19
研究……………	8・9	大学トピックス……………	20
管理栄養学科・食品学科の活動／学年担任制度…	10・11	学生募集要項……………	20

東京聖栄大学 開学10周年式典挙行

東京聖栄大学は、6月6日に大学開学10周年を記念して式典を挙行了しました。

昭和22年に開校した「オリムピア洋裁学院」を発祥とし、栄養士養成施設として厚生大臣から昭和29年に「聖徳高等栄養学校」名で指定を受けました。更にその後、昭和38年には聖徳栄養短期大学に発展、この短大をベースに高い技術と専門性を目指す4年制大学として平成17年に開学し、今年10周年を迎えることができました。

理事長・学長の祝辞

理事長 福澤美喜男



東京聖栄大学の開学10周年に当たり一言お祝いを申し上げます。

平成9年に厚生労働省が行った「21世紀の管理栄養士等あり方検討会」の検討が進むにつれて、栄養士養成課程を持つ大学は管理栄養士養成課程に改組転換し始め、短大も管理栄養士養成課程を設置するために4年制大学にすることが盛んになり、管理栄養士養成校が急激に増加し始めました。本学でも渡邊富久子理事長先生を中心に、管理栄養士養成課程を設置するための検討を始めましたが、当時の設置基準では校地面積が不足していたため、理事会意見が分かれていました。その後、理事会も管理栄養士養成課程の設置に一本化され、校地獲得のため奔走し始めた矢先、平成13年4月に渡邊富久子理事長先生が逝去され、前理事長の熱い意志を継いだ川口力理事長を中心に不足する校地を補充するために、八方手を尽くしましたが適当な場所もなく、大学設置を断念しかけた時に、運良く設置基準が緩和され、現有の校地で大学の設置が可能になりました。すぐに大学設置準備室を立ち上げ、室長に小林壯一氏（現常務理事）をお迎えして準備を進めていましたが、今度は川口力理事長が病に倒れ、平成15年7月に急逝されたため、やむなく学長兼理事長代行として、その後の申請業務を行いました。平成16年11月30日に認可書が交付され、正式に東京聖栄大学が誕生しました。このような経過で誕生した大学ですが、開学10周年を迎え、ようやく大学らしくなりましたが、改善するところが多々あります。更なる発展をするためには、教職員を始め卒業生その他関係各位の一層のご協力をお願いして祝辞と致します。

学長 松本 信二



東京聖栄大学は創立10周年を迎えました。開学以来しばらくの間は定員を満たすことが出来ずにおりましたが、10年目にして漸く収容定員を充足することが出来ました。また、卒業生の就職状況も良好であり、このように4年制大学として順調に歩んでこられたことは関係各位のご支援によるものと感謝しております。

ここ数年来、大学の質の向上が盛んに叫ばれるようになり教員の研究分野での活性化もその一環として求められています。そのような中、本学の機能別分化の主題として位置付けられている「地域社会への貢献」については大きな成果を挙げております。地元葛飾区との連携・協力をはじめ、福島県塙町や秋田県湯沢市との共同研究を推進するなど、いずれも教員・学生共同で成し遂げられたものであり、学生の教育上大きな成果をもたらしております。

さらに、上記の地域間の交流の外、海外交流では日本学術振興会・二国間交流事業共同研究の一環として流通システムの構築に関する研究を本学の教員が日本側代表として続けており、また、若手研究者が科研費の対象として選ばれております。

以上のように教育・研究の分野でも着々と地歩を固めておりますが、少子化が進むなか、学生数の確保とそれに伴う教育の質の向上には一段の努力が求められております。教職員・学生一丸になり、誇りのもてる大学となるよう一層努力する覚悟で臨んで参りますが、保護者、卒業生の皆様はじめ、関係各位の変わらぬご支援をお願いする次第です。

東京聖栄大学10年の歩み

平成16 (2004) 年

- 4月 大学設置認可申請。
- 9月 1号館：研究室、外壁、I期棟4階内廊下改修工事、4号館：研究室改修工事、図書館棟：研究室、情報処理実習室、栄養教育実習室改修工事完了。



- 10月 校旗校歌及びロゴマーク制定。
- 11月 東京聖栄大学健康栄養学部設置認可。

平成17 (2005) 年

- 2月 食品学科に食品衛生管理者養成施設及び食品衛生監視員養成施設を指定。
- 3月 管理栄養学科に管理栄養士養成施設を指定。
- 4月 東京聖栄大学開学。
- 5月 開学式挙行。
- 11月 ロゴマークを商標登録。



平成18 (2006) 年

- 1月 6号館研究講義棟竣工。
- 4月 学友会発足。学生支援センター発足。厚生施設棟竣工。
- 10月 大学・北口商店街フラッグ策定。



平成19 (2007) 年

- 5月 学園創立60周年記念式典挙行。
- 6月 学校法人オリーブ学園を学校法人東京聖栄大学と改称。



平成21 (2009) 年

- 4月 食品学科にフードサイエンスコース、フードビジネスコースを設置。

平成22 (2010) 年

- 5月 新奨学金制度開始。

平成24 (2012) 年

- 3月 韓国専門大学視察団来校（駐日大韓民国大使館依頼）



日本高等教育評価機構大学機関別認証評価結果「大学基準を満たす」認定期間平成23年4月～平成30年3月。

平成25 (2013) 年

- 5月 日本食育学会第1回総会、第7回学術大会を本学にて開催。
- 9月 7号館研究講義棟竣工。



平成26 (2014) 年

- 4月 管理栄養学科に教職課程を設置 栄養教諭一種免許状。
- 7月 4号館：教職課程センター、教職実践演習室、講義室、共通教育センター、研究室改修工事完了。



平成27 (2015) 年

- 6月 10周年記念式典挙行。



10周年記念式典・講演会

6月6日（土）わたなべ記念館において、約700人が出席のもと、大学開学10周年記念式典が盛大に挙行されました。松本信二学長は「10年間の歩みを振り返り、葛飾区との包括連携協定に基づく食育事業や福島県塙町の復興支援等、様々な地域貢献に本学は取り組んできました。また、教育と研究は大学の両輪である、若手研究者が科学研究費助成事業に選ばれる華々しい出来事が続きました。このような出来事は、校訓の熱意、誠意、創意の三意の成果であり、関係各位の尽力に敬意と感謝を表したい」と式辞を述べられました。

その後、日本総合医学会会長である渡邊昌先生による『食と健康のこれから』と題する記念講演が行われ、「今の生活を続けた場合、60歳になった時どうなるかを考え、健康長寿に生きていくために自己を磨いていってほしい」とのメッセージが述べられました。



大学後援会 鈴木 仁会長



日本総合医学会会長 渡邊 昌先生



学生代表より花束贈呈

10周年記念 祝賀会

祝賀会が約150人が参加のもと、市川グランドホテルで開催され、ご来賓の林淳三先生、平沢勝栄衆議院議員、青木克徳葛飾区長らより祝辞を頂きました。

福澤美喜男理事長は「開学当初は様々な試練がありましたが、教員だけではなく、職員も力を合わせて真摯で謙虚な態度で問題に取り組んできた結果、平成27年3月に実施された第29回管理栄養士国家試験では、合格率100%という成果を達成することができました。このことは、この10周年に花を添える喜ばしい出来事でありました。また、平成26年度卒業生の就職率は過去最高の97.4%を記録しました。これからも、この現状に甘んじず、教職員ともども力を合わせて魅力ある大学作りのために努力する所存であります」と決意を述べられました。



林 淳三先生（本学顧問）



青木克徳葛飾区長



平沢勝栄衆議院議員（本学顧問）

大学トピックス

葛飾区からの受託研究活動

本学では、葛飾区の外食の食環境整備、地域に根差した食育の推進、区民の健康の維持・増進を図ることを目的とした推進事業「かつしかの元気食堂」を実施しています。平成26年度は「かつしかの元気食堂・ヘルシーメニュー集」を作成しました。平成27年度の研究内容は、「かつしかの元気食堂1周年記念」を祝うイベント



食として、管理栄養学科3年次生が給食経営管理実習の授業で作成したレシピをヘルシーメニューコンテスト用に展開しました。優秀メニューを9月19日「かつしかの元気食堂1周年記念」において、葛飾区住民に食べていただきました。コンテストの審査委員は学内の9人のベテラン教員が行い、理事長賞・学部長賞～彩りがきれいで賞の9種類のレシピを審査しました。栄養・食品の専門家である審査員から貴重な意見やアドバイスを沢山いただきました。その他、本学内公募より学生が考えた「食物繊維たっぷりレシピカード」を作成し、葛飾区のイベント等で配布予定です。

福島県塙町からの受託研究活動

本学では、平成24年から福島県塙町からの受託研究が行われています。平成26年度の研究内容は、地元特産品を用いた加工品の開発、レシピの開発、商品パッケージの試作および適性調査、加工食品材料の機能性の確認等でした。また、道の駅はなわに商品を提供している婦人部や生産組合の方々を対象とした講演会や講習会を開催しました。講習会では荒木教授が「食の安全性について～食品衛生学的検査法の講習～」というタイトルで、細菌検査の実習を行い、その検査結果を現地での講習会で解説しました。また佐々木特任教授が「包装商品について」というタイトルで包装の大切さや機能について講演をしました。調理指導では、吉田講師による製菓実習や地元食材を用いた調理法の講習会を開催しました。また、荒木教授による食品乾燥機を用いた乾燥加工品の開発の提案を実習形式で行いました。



学術的な研究成果では「ラットの血清中脂質濃に及ぼすエゴマ種子の影響について」や同じくダリア塊根での研究がなされ、成果が報告されました。

秋に開催された第25回塙町産業祭では、食品学科の学生が葛飾区特産の小松菜入り焼きそばやこんにゃく粉入りすいとんの模擬店を開き、会場を盛り上げ、町民の皆さんに大変喜んでいただきました。



東京消防庁救急部長より感謝状授与

「救急の日」にあたる平成27年9月9日（水）、東京消防庁救急部長を代理し、東京消防庁本田消防署長守屋正巳氏が来校され、本学に感謝状が授与されました。本学は、平成18年にAEDを設置し、以後、平成20年より学友会主催で東京消防庁本田消防署の協力のもとAED操作を含めた「普通救急講習（AED講習）」を実施しています。現在までに300名近い学生が受講し、在学生でも100名を越える学生が受講を終えています。

今回、多年にわたるこのような救急業務への充実発展に多大な貢献があったことが評価され感謝状が授与されました。



卒業式・入学式

平成26年度 卒業式

平成26年度卒業式が、平成27年3月14日（土）わたなべ記念館において行われました。

新しい門出を迎えたのは、管理栄養学科89名、食品学科72名の161名でした。

式は学位記授与で始まり、表彰は学長賞（最優秀賞）の受賞1名、優秀賞は6名が受賞しました。他に全国栄養士養成施設協会会長賞、日本フードスペシャリスト協会会長賞、食品科学教育協議会会長賞の授与も行われました。

続いて松本信二学長の式辞では、「今日という日は、本当に実のある勉強が始まるスタートラインと心得え、社会の一員として、その時々々に即した勉強を常に続けてください。大学で学んだことは基礎知識として役に立ちますが、それ以上に社会人として学び、職場で得られた知識・情報が大切になります。実社会の取り組みを決して安易に考えずに、一生懸命に勉強を続け、努力し、汗を流すことを厭わないでください。発明王エジソンの言葉に「発明とは1%のinspirationと99%のperspirationから生まれる」とあるように、汗を流すことの大切さについて語られています。このことは、本学の教育姿勢を表す三意「熱意・誠意・創意」に繋がる姿勢である」と述べられました。

また、「これから最も大切なことは健康です。どんなに良い仕事をして健康を損なっては台無しです。皆さんは「健康栄養学部」の卒業生であることを自覚し、自己管理に努めながら充実した日々を送ってください」と結ばれました。



平成27年度 入学式

4月1日（水）、平成27年度入学式が東京聖栄大学わたなべ記念館において行なわれました。

開学11期生として健康栄養学部管理栄養学科89名、食品学科74名の新生が入式に臨みました。

開式の辞に続き松本信二学長の式辞では、4年制大学を新設するための礎となった本学園の長い歴史に触れられたのち、建学の精神である「自立できる知識と技術を育み、強い向上心と真摯な行動力を備えた人材の養成」について述べられました。

大学では一方的な受身の授業により知識を積み重ねていくだけでなく、知識・情報をよく咀嚼し、思考することで社会に役立つ見識を身につけることが大切であること、また本学では、社会に役立つ、実学に沿った教育を実践していることや、学校生活の指針となる「校訓」である、熱意・誠意・創意の三意を身につけ実践することの重要性について話されました。

最後に、「大学は勉強が最優先されることは論を待たないが、最も大切なことは生涯に亘って心の許せる多くの友を作ることです。楽しいキャンパスライフを自らの手で作り上げ、有意義な四年間を過ごされることを願っている」と結ばれました。



研究

科学研究費助成事業

「栄養素の代謝が睡眠を含む生体リズムに与える影響の解明」



矢鳥克彦助教の研究課題「飽和脂肪酸、または一価不飽和脂肪酸の摂取がエネルギー代謝と睡眠構造に与える影響」が、平成27年～28年度の2年間、若手研究（B）に採択された。科研費申請書の概要は以下の通りである。栄養学領域からのアプローチによって睡眠の質の向上、そして健康増進に貢献する知見を得ることが本研究の目的である。我々はこれまでに、睡眠時のエネルギー代謝と睡眠深度との間に相関関係があること、さらに睡眠前に摂取する炭水化物や脂質の“量”を増減させることによって睡眠深度が変化することも明らかにした¹⁾。一方、我々が摂取する栄養には“量”という考えのほかに“質”という考え方がある。“質”の差異が睡眠構造に与える影響を検討する第一段階として、本研究では脂肪酸に介入することとした。飽和脂肪酸、または一価不飽和脂肪酸の摂取によってエネルギー消費量や脂質酸化量を含むエネルギー代謝、および睡眠深度を含む生体リズムに与える影響を、今後解明していく。

- 1) Yajima Katsuhiko. Effects of Nutrient Composition of Dinner on Sleep Architecture and Energy Metabolism during Sleep. Journal of Nutritional Science and Vitaminology. 60, 114-121, 2014.

「インド経済圏内の食品流通システムの展開方向と日本農産物の輸出可能性の研究」

藤島廣二客員教授の研究課題「インド経済圏内の食品流通システムの展開方向と日本農産物の輸出可能性の研究」（研究代表者：河合明宣放送大学教授）が基盤研究（B）に採択された。概要は以下の通りである。

インド経済圏（インド、ネパール、ブータン）は現在、経済発展途上にあり、急速な発展が期待されているが、同経済圏内の食品流通システムは謂わば「ブラックボックス」状態にあり、その実態や問題点については未だに解明がほとんど行われていない。そのため、同流通システムの今後の変化の方向が不明確であるばかりか、政府等が採るべき改善策等も十分に明らかにされているとは言い難い。また、日本などの諸外国にとっては、インド経済圏への食品輸出方策を確立するための情報が大幅に不足していると言わざるを得ない。

そこで、本科学研究費補助事業では既存データの収集・分析に加えて、現地の研究者との協力の下、ヒアリング調査やアンケート調査等により実態を正確に把握すると共に、これまでに取り組んできた中国経済圏の研究成果等も参考にしつつ、インド経済圏の食品流通システムの展開方向等の解明を試みる。

二国間交流事業共同研究

「高効率青果物流通システムの構築に関する日中両国間比較研究」

独立行政法人日本学術振興会が実施する二国間交流事業共同研究として藤島廣二客員教授の「高効率青果物流通システムの構築に関する日中両国間比較研究（中国との共同研究：CASS）」が平成26年に採択され、2年目をむかえた。研究概要、進捗状況は以下の通り。

中国は21世紀に入ってからこれまでの世界に例がないほどの急速な経済発展を遂げ、今や日本を抜いて、アメリカに次ぐ世界第2位の経済大国になった。しかし、国内の食品流通システムを見ると、様々な問題が少なくない。その中でも特に大きな問題は、青果物流通の場合、輸送や貯蔵等の流通段階において約3割に達するといわれるロスが発生することである。

本二国間交流事業では、こうしたロスの発生を抑える方法等を流通システムの側面から究明することを主要な課題としている。そのため、昨年度は日中両国の流通システムの実態の把握に努めた。その成果が「高効率青果物流通システムの構築に関する日中両国間比較研究（平成26年度研究成果集）」である。



平成27年度 特別研究・共同研究

本学教育研究費取扱要項第2項及び第3項の規定に基づき、特別研究・共同研究を毎年度募集しており、申請された研究課題については、研究推進委員会において審査し採否の決定をしています。本年度の特別研究・共同研究計画申請について、以下の表の通り採用決定しました。

平成27年度 特別研究共同研究計画申請者一覧

代表申請者	研究別	研究課題
橋場 直彦	共同	青年期女子における肥満の危険因子に関する検討－特に運動習慣、食習慣、生活習慣および生活習慣病の家族歴を中心に－（第5報）(H27・28年度)
荒木 裕子	共同	発酵ソーセージ・ネームの研究（2）
新村真由美	共同	食育サポーター事業 in 葛飾区
岡本 直也	特別	多変量標本積率を用いた検定手法の開発
片山 佳子	特別	品種別黒大豆による味噌の性状および機能性について
吉田 光一	共同	ダリア塊根の機能性に関する研究（1）
大内 和美	特別	中温加熱処理による植物性食品の品質変化 －中温加熱処理によるキノコ類の5'-ヌクレオチドと遊離アミノ酸生成量の変化－
大内 和美	共同	キノコの消化酵素阻害活性について タモギタケのリパーゼ阻害成分の検討及び雌性CrI:CD1 (ICR) マウスを用いたin vivoでの脂質代謝に及ぼす影響
矢島 克彦	特別	栄養素代謝と睡眠時脳波の関連に関する研究 (飽和脂肪酸、または一価不飽和脂肪酸の介入研究)
海老澤隆史	共同	酵母における α -アミラーゼ遺伝子の発現制御に関する研究 ～遺伝子組み換え方法の確立～

平成26年度 特別研究・共同研究発表会

7月4日（土）平成26年度特別研究・共同研究発表会を開催しました。松本信二研究推進委員長による開会挨拶の後、岡本直也教授等の教員による特別研究「多変量標本積率を用いた正規性検定統計量について」、大塚静子講師による共同研究「ラットにおける飼料中のリンならびに脂肪量の違いがラットの腎石灰化に及ぼす影響について（2）」を始めとした計11題の口頭発表がなされ、質疑応答も活発に行なわれました。



平成26年度 特別研究共同研究計画一覧

No.	代表申請者	研究別	研究課題
1	橋場 浩子	共同	ジャガイモの特性－ジャガイモ3種の熱的挙動－
2	橋場 直彦	共同	青年期女子における肥満の危険因子に関する検討 －特に運動習慣、食習慣および生活習慣病の家族歴を中心に－（第5報）(H26・27年度)
3	岡本 直也	特別	多変量標本積率を用いた正規性検定統計量について
4	荒木 裕子	共同	発酵ソーセージ・ネームの研究
5	大塚 静子	共同	ラットにおける飼料中のリンならびに脂肪量の違いがラットの腎石灰化に及ぼす影響について（2）
6	片山 佳子	特別	品種別大豆による味噌の成分および機能性について
7	鈴木 等	特別	疾病に関連するタンパク質を特異的に認識する核酸の開発
8	星野 浩子	共同	食品調理加工中のメイラード反応生成物の定量及びその抗酸化能について（第2報）
9	矢島 克彦	特別	栄養素代謝と睡眠時脳波との関連に関する研究
10	海老澤隆史	共同	酵母における α -アミラーゼ遺伝子の発現制御に関する研究
11	新村真由美	共同	食育サポーター事業 in 葛飾区「かつしか知っ得メモ」の取り組み（第2報）

管理栄養学科の活動

2014-2015

新入生宿泊研修

管理栄養学科は、4月3～4日の2日間、新入生89名を対象に葛西臨海公園にて宿泊研修を実施し、グループディスカッションを通して学生間の親睦を深めました。



11期生（新入生）宿泊研修<葛西臨海公園>

食育の絵本読み聞かせ

6月20日に葛飾区中央図書館にて、本学学生が地元葛飾区の子どもたちに食育に関する絵本の読み聞かせを行いました。



「読み聞かせ」ボランティア

臨地実習報告会

6月27日に臨地実習（病院・福祉実習）報告会が実施され、8期生（現4年次生）が体験談等を後輩に向けて話しました。



8期生（現4年生）臨地実習報告会

かつしか元気食堂

大学と葛飾区が協働で実施している、かつしかの元気食堂推進事業の一環で、「第1回東京聖栄大学生が考える元気食堂レシピコンテスト2015」を行いました。（6頁に掲載）



かつしか元気食堂（メニュー製作中）

学年担任制度

本学では学年担任がおかれ、学業や進路などさまざまな問題について学生の相談に応じ、健全で円滑な学生生活を過ごすことができるよう配慮されているので、積極的に学年担任を訪ね指導助言を受けてください。

なお、担任・副担任は、クラスを掌握し、教育職員・事務職員と学生の情報を共有し、相互に連携しながら指導・支援等を行っています。



担任との相談

食品学科の活動 2014-2015

新入生宿泊研修

食品学科は74名の新入生を迎え、日光で4月3日～4日に1泊2日の新入生宿泊研修を実施しました。



都内市場見学

1年次生を対象に食肉市場、大田市場、築地市場と都内の食の流通についての学習を1泊で行いました。



朝の大田市場内

長野フィールド研修

2年次生を対象に長野、高遠さくらホテルを拠点に、農業体験や食品会社の見学、食品の製造体験を行いました。



ソーセージ製造を体験

海外研修

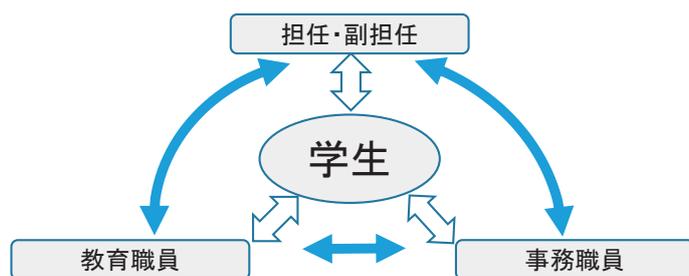
今年の訪問国はベルギーとフランスの2ヶ国で、各国の食事情や、食文化に触れる研修を2月12～19日の8日間の日程で実施しました。



ベルギー チョコレート工場見学



フランス ル・コルドンブルー調理講習会



学生支援センターでの就職相談

学生支援センターの活動

学生支援・就職支援

生活支援・就職支援関係行事一覧

日時	行事
平成26年10月8日	防火・防災訓練講習会
平成26年10月27日	1年次生対象キャリア支援ガイダンス
平成26年11月17日	3年次生対象リクルートガイダンス
平成26年11月20日	3年次生対象SPI対策講座
平成26年11月25日・26日	学内業界企業説明会
平成26年12月4日	3年次生対象履歴書対策講座
平成26年12月9日	普通救命講習（AED講習）
平成26年12月10日	4年次生による就職活動体験講話
平成26年12月19日	3年次生対象グループディスカッション講座
平成27年2月10日・13日	管理栄養士関係企業学内業界説明会
平成27年2月20日・23日	食品関係企業学内業界説明会
平成27年4月7日	3・4年次生対象食品衛生監視員受験ガイダンス
平成27年4月9日	地方公務員論文対策講座
平成27年4月16日	3年次生対象エントリーシート対策講座
平成27年5月26日	学内奨学金授与式
平成27年6月4日	1年次生対象「大学生基礎力レポート解説ガイダンス」
平成27年6月18日	1年次生対象マナー講座
平成27年7月7日	公務員受験ガイダンス
平成27年7月9日	3年次生対象就職活動のためのマナー講座
平成27年9月3日	防災週間における葛飾警察署と連携した防災訓練



学内業界説明会



学内奨学金授与式



葛飾警察署と連携した防災訓練

学生パブリックコメント～学生生活について～

平成26年度より学生の視点に近い位置に教職員が立ち、学生に対する教育・指導の充実やサービス機能の向上に努める為に、学生の皆様からあげられた様々な意見、提案を可能な限り集約し、より良い大学生活になるように取り組む、「学生パブリックコメント～学生生活について～」を作成しました。学生の皆様からの意見提案等がある場合はアンケートや学生支援センター窓口でお伝え下さい。



地域共創・食育イベント

（一社）全国栄養士養成施設協会後援事業

平成26年度（一社）全国栄養士養成施設協会後援事業として「サンデークッキングー親子で学ぼう!! 楽しい食育ー」を実施しました。『聖栄葛飾祭』において、小学生高学年を対象にした食育イベントを行いました。



（公社）日本フードスペシャリスト協会共催事業

「ワンダーワールド・葛飾の食探究展」を平成26年度（公社）日本フードスペシャリスト協会共催事業として実施しました。『聖栄葛飾祭』や地元地域のイベント「新小岩文化祭」において出展しました。



わんぱく相撲

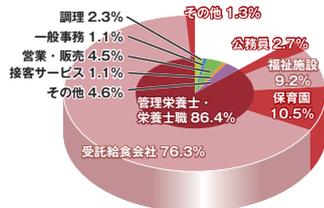
平成27年5月17日（日）、わんぱく相撲葛飾区大会が開催され、本学は大学附属調理師専門学校と合同で総合司会、模擬店出展（炊き込みご飯、ちゃんこ汁）で、参加協力しました。



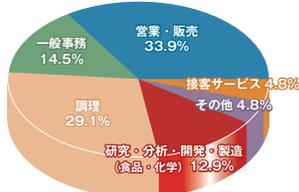
キャリア・就職データ

7期生 (平成27年3月卒業生)の 就職状況(就職率97.4%)

●管理栄養学科(就職率98.9%)



●食品学科(就職率95.4%)



職種別就職先グラフ

平成27年3月卒業生就職結果

第7期生(平成27年3月卒業生)の就職率(就職希望者比)は、学部合計で97.4%でした。これは文部科学省集計の全国の大学卒業生の就職率96.7%を上回り、開学以来最高値の結果です。学科別には、管理栄養学科が98.9%で昨年度比プラス1.4ポイント、食品学科が95.4%で昨年度比1.1ポイントといずれも昨年を上回る結果となりました。

本学の就職活動は、学生・保護者・教員・学生支援センターの連携により行っています。卒業生の多くは学業に関連した業種職種に就職しており、卒業生が就職先で大いに活躍することを期待しています。

進路・就職結果

	管理栄養学科	食品学科	合計
就職者	88	62	150
就職未内定者	1	3	4
<就職希望者>	<89>	<65>	<154>
進学者	0	1	1
その他	0	7	7
卒業者	89	73	162

平成28年3月卒業生就職内定状況

(株)リクルートキャリア等の就職情報会社によると、今年度の大卒求人倍率は1.73倍と昨年(1.61倍)を上回る数字が発表されています。就職活動の後ろ倒しの影響が懸念されていましたが、本学の4年次生の就職内定状況(8月31日現在)は、学部合計で49.7%と昨年度比プラス2.1ポイントでした。学科別には、管理栄養学科が56.8%で昨年度比プラス4.5ポイント、食品学科が42.7%で昨年度比プラス0.4ポイントといずれも昨年に比べ改善されています。

しかしまだ内定を得ていない学生も多数いるため、本学では今後も全力で就職支援を継続いたします。関係者の皆様のご協力をお願いいたします。

主な就職先

<管理栄養士・栄養士職>

(公務員) 神奈川県川崎市栄養士、東京都練馬区栄養士
(福祉施設) (社福) 市川朝日会 老健市川あさひ荘、(社福) 市川会 特養ホワイト市川、(社福) 照陽会 特養みんなと暮らす町、(社福) 天寿園会 特養椿、(社福) 東京愛育苑 向島学園、(社福) 豊延会 イシノ療護園
(保育園) 青梅ゆりかご保育園、(社福) 白菊会 かみこまつ保育園、(社福) 高砂福祉会 たかさごナーサリースクール取手、(宗) 天理教大禮分教会 大禮保育園、どんぐり保育園、西二なかよし保育園、(株)ばんびーな 保育園リエッタ、(社福) ふたば愛児会のぞみ保育園

(給食会社) エームサービス(株)、(株)グリーンハウス、シダックス(株) 西洋フード・コンバスターグループ(株)、(株)メフォス、(株)LEOC

<研究・分析・開発・製造(食品・化学)> イニシオフーズ(株)、(有)春華堂、(株)ドンク、日東ベスト(株)、(株)らいふ

<調理> (株)大戸屋、(株)ジェイプロジェクト、(株)人形町今半、(株)ブルーランジェリーエリックカイザージャポン、(株)ブロンコビリー、(株)ホテルグランドパレス、(株)日黒雅叙園

<一般事務> 宇都宮農業協同組合、東京千住青果(株)、中条商事(株)

<営業・販売> (株)青木商店、(株)九州屋、(株)ジャパンビバレッジホールディングス、タイヘイ(株)、(株)マルエツ、(株)美濃吉食品、明治屋産業(株)

<接客サービス> (株)叙々苑

公開講座

平成27年度は、日本の食文化講座(中西 載慶非常勤講師)、キッチンハーブ講座(荒木裕子教授)、健康栄養講座(大塚静子講師)を実施し、各講座とも定員を超えるご応募により盛況裏に終了しました。12月には附属専門学校の調理実習講座を実施予定です。



日本の食文化講座

地域共創・食育イベント行事一覧

日時	行事
平成26年10月11日	防犯広報キャンペーン
平成26年10月14日	防犯広報キャンペーン(学内)
平成26年10月17日	地域美化プランター秋花苗植付
平成26年11月7日~8日	『聖栄葛飾祭』(一社) 全国栄養士養成施設協会後援事業
平成26年11月7日~8日	『聖栄葛飾祭』(公社) 日本フードスペシャリスト協会共催事業
平成26年11月22日~23日	かつしかフードフェスタ2014
平成26年12月1日	地域との意見交換会
平成26年12月6日	公開講座(調理実習講座・附属調理師専門学校教員 村上 匡)
平成27年3月8日	かつしかふれあいRUNフェスタ
平成27年3月9日	地域美化プランター春花苗植付
平成27年5月17日	わんぱく相撲葛飾区大会
平成27年6月13日・20日	公開講座(日本の食文化講座・非常勤講師 中西 載慶)
平成27年6月20日	食育読み聞かせ会
平成27年6月27日・7月4日	公開講座(キッチンハーブ講座・食品学科 教授 荒木 裕子)
平成27年8月29日・30日	新小岩駅前祭り
平成27年9月26日	公開講座(健康栄養講座・管理栄養学科 講師 大塚 静子)

学友会活動

会長挨拶



学友会会長 管理栄養学科3年
林 幸苗

今年度、新しく学友会会長に就任しました管理栄養学科3年の林幸苗です。

今年も例年通り、学友会総会、新入生歓迎会、体育祭を無事に終えることができました。皆様のご協力、

ありがとうございました。

学友会での今年度に残す一大行事は11月に行われる『聖栄葛飾祭』です。各クラスや部・同好会では食を学ぶ本学の学生として様々な企画を考えていると思います。

皆様のご協力のもと、素晴らしい『聖栄葛飾祭』にしたいと考えております。

これからもより良い大学を目指し、学友会一同頑張っていきますので、学友会の活動にご理解・ご協力を宜しくお願いいたします。

学友会総会・新入生歓迎会

4月8日(水)学友会総会が開催され、新役員の選出、26年度決算報告及び27年度予算案等が承認されました。4月23日(木)には、新入生歓迎会が開催され、葛飾区健康部長(葛飾区保健所長兼務)の中西好子氏による『食と公衆衛生』と題した特別講演が行われました。特別講演後には、抽選会も行われ大いに盛り上がり、新入生には先輩と交流する良い機会となりました。



聖栄葛飾祭

11月7日(土)、8日(日)の両日に『聖栄葛飾祭』が開催されます。今年のテーマは「食で広がる笑顔の輪」に決定しました。今年も例年同様、葛飾区の後援や地元自治会の協力も得て、地元密着の大学祭として開催されます。多くのご来場者様に食を通して「笑顔」になっていただける企画をご用意いたしますのでご来場を心よりお待ちしております。



体育祭

5月22日(金)、船橋グラウンドにて体育祭が開催されました。1FAクラスが総合優勝を勝ち取り、学長杯が授与されました。当日は出席率100%のクラスが3クラスあり、優勝クラスを含め、聖栄会より賞金が授与されました。今年度は教職員参加の競技も多数あり、学生間だけでなく、教職員との親交も深める一日となりました。



平成27年度 部・同好会一覧

部 名	学 生	代 表
食品加工研究部	食品学科 3年	麻生 真央
調理実習部	管理栄養学科 2年	鈴木 将大
硬式テニス部	管理栄養学科 3年	伊藤 廉
合気道部	食品学科 3年	坂本 聖人
バレーボール部	食品学科 3年	張本 浩毅
バスケットボール部	管理栄養学科 3年	五十嵐 裕太

同好会名	学 生	代 表
ダンス同好会	管理栄養学科 3年	中川 莉帆
バドミントン同好会	管理栄養学科 3年	内田 雅壽
軽音楽同好会	管理栄養学科 2年	鈴木 朝咲美
あぐり	食品学科 3年	黒瀧 華菜
ソフトテニス同好会	管理栄養学科 2年	明星 紗希
フットサル同好会	食品学科 3年	野口 隆希
野球同好会	食品学科 2年	猪野 舜平
聖栄ビアヘルピングワークス	管理栄養学科 3年	小池 直輝
パン同好会	食品学科 2年	三井 翔
吹奏楽同好会	管理栄養学科 3年	水上 由菜
サッカー同好会	管理栄養学科 3年	飯塚 拓朗
伝統洋菓子研究同好会	食品学科 3年	五十嵐 朋美
ボランティアの会	管理栄養学科 2年	梅川 千明

後援会の活動



後援会会長
鈴木 仁

4月1日に入学式が行われ、その後後援会総会が開催され、1年生の後援会新役員の方々が紹介されました。5月には、第1回後援会の会議が行われ、新たに役員の方々が選出され平成27年度の活動がスタートいたしました。この始まり時の5月8日に第29回管理栄養士国家試験において合格者が100%という快挙が成し遂げられました。また、平成26年度の就職内定率が97.4%に達しました。この事は、6月に開催されました東京聖栄大学の開学10周年式典に花を添えることができました。式典は、盛大に開催されまして後援会代表として出席いたしました。まさにこの10年間の成長とレベルアップを証明する開学10周年記念式典でした。

後援会活動も大学10周年の成長に負けないように、教職員と学生と保護者との連絡役になって、すばらしい学生生活が送れるように頑張っていく所存です。何かご意見、ご希望がありましたら後援会までお知らせ下さい。

後援会の主な活動

- 平成27年度**
- 保護者懇談会開催（10月3日（土））
保護者と教職員の情報交換会
 - 後援会会報の発行（年2回発行予定）
10月1日付
3月15日付
 - 会議の開催
定期総会 4月1日（水）
役員会 5月30日（土）
3月上旬

聖栄会の活動



聖栄会会長
高橋 興亜

平成27年度聖栄会総会を6月7日（日）に東京聖栄大学で開催し、議事一切が全会一致で可決承認されました。今年度は、聖栄会支部を千葉県以外の他県にも広げることが大きな目標であります。さらに、行政、食品関係、病院、福祉等の各分野で活躍されている仲間に関わりとして加わっていただき、活力のある、魅力ある会活動を推し進め、母校に寄与してまいりたいと思っております。

母校と聖栄会が共に発展されますように諸先生、会員の方々のご支援を切にお願い申し上げます。

聖栄会の主な活動

- 平成27年度**
- 4月 「聖栄会だより」の発刊
 - 5月 体育祭の協賛
 - 6月 平成27年度定期総会並びに懇親会開催
 - 10月 第27回食文化研究会開催
 - 11月 大学祭への参加
 - 3月 卒業記念品の贈呈
 - 役員会・編集会議「聖栄会だより」（1月・10月・随時）

人事異動

(順不同 敬称略)

- 教員
(補職) 平成27年4月1日付
- | | | |
|-------------|----|------------|
| 健康栄養学部長 | 教授 | 田所 忠弘 |
| 図書館長 | 教授 | 筒井 知己 |
| 管理栄養学科長 | 教授 | 橋場 浩子 |
| 食品学科長 | 教授 | 丸井 正樹 (再任) |
| 共通教育センター長 | 教授 | 有村 久春 |
| 国試対策室長 | 教授 | 阿左美章治 |
| 国試対策室兼務特任教授 | 助教 | 星野 浩子 |
- (就職支援アドバイザー) 藤田 明男 吉川 恵則
- 平成27年3月25日付
コンプライアンス責任者 教授 田所 忠弘
- 昇任 平成27年4月1日付
- | | | | |
|----|-------|-------|-------|
| 教授 | 橋場 直彦 | 荒木 裕子 | 岡本 直也 |
| 助教 | 星野 浩子 | 矢島 克彦 | 大内 和美 |
- 採用 平成27年4月1日付
- | | |
|----------|-------------------|
| 講師 | 田中 広美 |
| 助手 (任期制) | 小田亜紗子 高橋麻里子 平塚 文乃 |
- 退職 平成27年3月31日付
- | | | |
|----------|-------|-------|
| 教授 | 鈴木 和枝 | 前田 宣昭 |
| 准教授 | 佐川 敦子 | 大須賀彰子 |
| 助手 (任期制) | 宮本 理恵 | 本間優理亜 |
- 非常勤講師 (新規委嘱) 平成27年4月1日付
- | | |
|------------------|-----------------------------------|
| 秋澤みどり (あきさわ みどり) | 担当教科「臨床栄養学Ⅱ」「臨床栄養学実習Ⅱ」「大量調理基礎実習」 |
| 苦野 一徳 (とまの いっとく) | 担当教科「教育方法論」 |
| 宮内 真弓 (みやうち まゆみ) | 担当教科「臨床栄養学Ⅰ」(オムニバス)「介護食実習」(オムニバス) |

- 大田原美保 (おおたはら みほ)
担当教科「調理学実習Ⅰ」「調理学実験」
- 職員
採用 平成26年9月1日付
- | | |
|-----|---------------------|
| 総務課 | 伊藤 崇 |
| | 伊澤 由莉 (平成26年12月1日付) |
- (臨時職員)
- | | |
|----------------|---------------------|
| 総務課 | 馬田 里美 (平成27年3月9日付) |
| 図書館司書 | 和田 恵子 (平成27年3月23日付) |
| 施設管理課船橋グラウンド勤務 | 酒井 義孝 (平成27年4月1日付) |
- 昇任 平成27年7月1日付
- | | |
|-----|----------------------|
| 事務部 | 学生支援センター学生支援・就職支援課係長 |
| | 森田 悦子 (学生支援・就職支援課主任) |
- 配置換 平成27年7月1日付
- | | |
|-----|------------------------|
| 事務部 | 学務課 山本 浩作 (学生支援・就職支援課) |
| 事務部 | 学生支援センター学生支援・就職支援課 |
| | 富永 裕樹 (学務課) |
- 退職 平成27年3月31日付
(臨時職員)
- | | |
|---------|-------|
| 総務課電話交換 | 中村實枝子 |
| 図書館司書 | 平澤 信子 |
| 船橋グラウンド | 石田 清美 |
- <専門学校>
- 退職 平成27年3月31日付
- | | |
|----|-------|
| 校長 | 平澤 正男 |
|----|-------|
- 就任 平成27年4月1日付
- | | |
|----|-------|
| 校長 | 阿左美章治 |
|----|-------|

平成26年度決算報告

学校法人東京聖栄大学

本学の26年度末における財務の概況は、次の通りです。

収入は、主たる財源である学生納付金収入が、入学定員充足率の高まりによって増加傾向にあり、経営努力による収入も増加しています。一方、支出面では、人件費支出をはじめ、支出抑制に努めて、収支均衡を目標に財政健全化に努めているが、26年度決算においては、帰属収支差額（帰属収入－消費支出）は、1億900万円の収入超過（黒字）となり、4期連続で収入超過の実績を収める事ができました。（帰属収支差額比率はプラス7.6%）

1. 資金収支計算書

平成26年度の資金収支決算規模は、46億2600万円となり、前年度比7億3300万円縮小しました。前年度繰越支払資金を除く当年度の収入額は34億4800万円であり、支出額は32億7600万円となりました。この結果、次年度繰越支払資金は13億4900万円となり、前年度比1億7100万円増となりました。

資金収支計算書（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）（単位 千円）

	資金収支計算書			
	科 目	予 算	決 算	差 異
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,136,000	1,173,056	△ 37,056
	手数料収入	24,000	22,737	1,263
	寄付金収入	7,000	6,905	95
	補助金収入	147,933	147,682	251
	国庫補助金収入	100,010	99,811	199
	地方公共団体補助金収入	47,923	47,871	52
	資産運用収入	26,000	49,610	△ 23,610
	資産売却収入	1,815,560	1,815,560	0
	事業収入	9,500	18,982	△ 9,482
	雑収入	5,730	16,348	△ 10,618
	前受金収入	560,000	516,626	43,374
	その他の収入	236,295	241,924	△ 5,629
	資金収入調整勘定	△ 543,902	△ 561,163	17,261
	前年度繰越支払資金	1,177,670	1,177,670	
収入の部合計	4,601,786	4,625,937	△ 24,151	
支出の部	人件費支出	697,000	703,992	△ 6,992
	教育研究経費支出	286,723	293,917	△ 7,194
	管理経費支出	98,543	99,948	△ 1,405
	借入金等利息支出	2,420	2,420	0
	借入金等返済支出	12,220	12,220	0
	施設関係支出	317,932	293,438	24,494
	設備関係支出	62,064	68,004	△ 5,940
	資産運用支出	2,000,000	1,801,363	198,637
	その他の支出	20,505	22,917	△ 2,412
	〔予備費〕	10,000		10,000
	資金支出調整勘定	△ 22,058	△ 21,715	△ 343
	次年度繰越支払資金	1,116,437	1,349,434	△ 232,997
	支出の部合計	4,601,786	4,625,937	△ 24,151

2. 消費収支計算書

帰属収入は14億3900万円です。これから基本金組入額を控除したものが消費収入となります。また、消費支出には、建物、機器備品などの減価償却額が加算されています。当年度は4号館改修、幼稚園給食施設の増改築などがあり、多額の費用が基本金組入額として帰属収入から控除されたので、消費収支差額（消費収入－消費支出）は、1億2千万円の支出超過となりました。（消費収支差額比率110.0%）

前年度からの繰越支出超過額が3億2000万円あるので、翌年度繰越支出超過額は、4億4000万円となります。

消費収支計算書（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）（単位 千円）

	消費収支計算書			
	科 目	予 算	決 算	差 異
消費収入の部	学生生徒等納付金	1,136,000	1,173,056	△ 37,056
	手数料	24,000	22,737	1,263
	寄付金	9,520	10,714	△ 1,194
	補助金	147,933	147,682	251
	国庫補助金	100,010	99,811	199
	地方公共団体補助金	47,923	47,871	52
	資産運用収入	26,000	49,610	△ 23,610
	資産売却差額	0	21	△ 21
	事業収入	9,500	18,939	△ 9,439
	雑収入	5,730	16,348	△ 10,618
	帰属収入合計	1,358,683	1,439,107	△ 80,424
	基本金組入額合計	△ 201,600	△ 229,631	28,031
	消費収入の部合計	1,157,083	1,209,476	△ 52,393
	消費支出の部	人件費	716,450	705,739
教育研究経費		495,273	491,096	4,177
管理経費		108,543	109,686	△ 1,143
借入金等利息		2,420	2,420	0
資産処分差額		1,000	18,718	△ 17,718
徴収不能額		0	2,220	△ 2,220
〔予備費〕		6,000		6,000
消費支出の部合計		1,329,686	1,329,879	△ 193
当年度消費収入超過額		0	0	
当年度消費支出超過額		172,603	120,403	
前年度繰越消費支出超過額		319,678	319,678	
基本金取崩額		0	0	
翌年度繰越消費支出超過額		492,281	440,081	

3. 貸借対照表

26年度末の資産の総額は7900万円増の97億5100万円です。固定資産が3300万円減になり、流動資産が1億1200万円増の13億6900万円となりました。負債の部は、借入金返済などで3000万円減少し10億1800万円となりました。基本金は、2億3000万円増の91億7300万円となりました。資産が増加傾向にあり、負債が漸減しているのが財政としては好ましい状況であります。

貸借対照表 (平成27年3月31日) (単位 千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	8,381,614	8,414,175	△ 32,561
有形固定資産	5,909,161	5,769,546	139,615
土地	1,889,400	1,889,400	0
建物	3,540,102	3,351,705	188,397
その他の有形固定資産	479,659	528,441	△ 48,782
その他の固定資産	2,472,453	2,644,629	△ 172,176
流動資産	1,369,259	1,257,743	111,516
現金預金	1,349,434	1,177,670	171,764
その他の流動資産	19,825	80,073	△ 60,248
資産の部合計	9,750,873	9,671,918	78,955
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	410,574	421,046	△ 10,472
長期借入金	109,980	122,200	△ 12,220
その他の固定負債	300,594	298,846	1,748
流動負債	607,707	627,508	△ 19,801
短期借入金	12,220	12,220	0
その他の流動負債	595,487	615,288	△ 19,801
負債の部合計	1,018,281	1,048,554	△ 30,273
基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	9,042,672	8,813,042	229,630
第2号基本金	0	0	0
第4号基本金	130,000	130,000	0
基本金の部合計	9,172,672	8,943,042	229,630
消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	△ 440,081	△ 319,678	△ 120,403
消費収支差額の部合計	△ 440,081	△ 319,678	△ 120,403
科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部および消費収支差額の部合計	9,750,873	9,671,918	78,955

4. 財産目録

資産総額97億5900万円の内訳は、基本財産が59億7000万円、(61.2%) 運用財産34億2500万円 (35.1%)、収益事業用財産 3億6400万円 (3.7%) となっており、また、負債総額10億2500万円のうち固定負債は4億110万円、流動負債は6億800万円、収益事業負債は645万円となっています。資産総額から負債総額を引いた正味財産は87億3400万円で、前年度末比1億900万円増となりました。

財産目録 26年度 (総括表) (平成27年3月31日現在) (単位 千円)

I 資産総額	9,758,543
内 基本財産	5,969,921
運用財産	3,424,543
収益事業財産	364,079
II 負債総額	1,024,735
III 正味財産	8,733,808

区分	金額
資産額	
1. 基本財産	5,969,921
有形固定資産	5,909,161
土地	1,889,400
建物	3,540,102
構築物	74,852
教研機器備品	225,833
その他の機器備品	13,429
図書	160,239
車両	5,306
その他の固定資産	60,760
借地権	59,900
電話加入権	860
2. 運用財産	3,424,543
現金預金	1,349,434
定期預金	330,000
有価証券	1,400,000
差入保証金	9,070
退職給与引当特定資産	21,423
減価償却引当特定資産	294,791
未収入金	16,091
販売用品	133
前払金	3,265
立替金	52
仮払金	284
3. 収益事業用財産	364,079
土地	185,313
建物	155,271
構築物	340
現金預金	23,092
前払金	63
資産の部合計 (A)	9,758,543

負債額	
1. 固定負債	410,574
長期借入金	109,980
退職給与引当金	300,594
2. 流動負債	607,707
短期借入金	12,220
未払金	18,447
前受金	516,626
預り金	55,140
研修旅行費預り金	5,274
3. 収益事業用負債	6,453
前受金	1,296
未払法人税	157
預り保証金	5,000
負債の部合計 (B)	1,024,735

正味財産 (A) - (B)	8,733,808
----------------	-----------

5. 5カ年連続消費収支計算書 (26年度)

平成22年度から26年度まで連続消費収支計算書は、別表の通りです。

5カ年連続消費収支計算書 (26年度)

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		全国平均	
	金額 千円	構成比率 %	医歯系を除く	%								
収入の部												
学生納付金収入	1,003,922	78.0	1,018,198	79.1	1,048,125	75.2	1,122,634	76.8	1,173,056	81.5		72.4
手数料収入	22,927	1.8	22,480	1.7	31,033	2.2	23,097	1.6	22,737	1.6		2.4
寄付金収入	10,516	0.8	12,563	1.0	10,639	0.8	10,820	0.7	10,714	0.7		2.2
補助金収入	139,212	10.8	176,246	13.7	171,929	12.3	157,819	10.8	147,682	10.3		12.8
資産運用収入	16,953	1.3	18,030	1.4	26,977	1.9	36,499	2.5	49,610	3.4		2.3
資産売却差額	105	0.0	0	0.0	228	0.0	11,859	0.8	21	0.0		1.0
事業収入	8,459	0.7	7,384	0.6	10,712	0.8	11,829	0.8	18,939	1.3		3.8
雑収入	75,799	5.9	31,840	2.5	94,875	6.8	87,869	6.0	16,348	1.1		3.0
帰属収入	1,277,893	99.3	1,286,741	100.0	1,394,518	100.0	1,462,426	100.0	1,439,107	100.0		100.0
基本金組入額	△ 63,559	△ 4.9	△ 67,266	△ 5.2	0	0.0	△ 119,019	△ 8.1	△ 229,631	△ 16.0		△ 12.1
消費収入合計	1,214,334	95.0	1,219,475	94.8	1,394,518	100.0	1,343,407	91.9	1,209,476	84.0		87.9
支出の部												
人件費支出	748,767	58.2	690,358	53.7	795,858	57.1	782,114	53.5	705,740	49.0		52.4
教育研究経費支出	432,497	33.6	443,373	34.5	436,638	31.3	459,266	31.4	491,096	34.1		31.5
(うち減価償却額)	(190,782)	(14.8)	(195,224)	(15.3)	(186,976)	(13.4)	(177,544)	(12.1)	(196,362)	(13.6)		(9.9)
管理経費支出	117,274	9.1	106,059	8.2	103,725	7.4	105,488	7.2	109,686	7.6		8.8
(うち減価償却額)	(12,930)	(1.0)	(11,533)	(0.9)	(10,215)	(0.7)	(9,066)	(0.6)	(9,739)	(0.7)		(1.1)
借入金利息支出	3,299	0.3	3,080	0.2	2,859	0.2	2,640	0.2	2,419	0.2		0.3
資産処分差額	6,539	0.5	10,478	0.8	24,574	1.8	13,377	0.9	18,718	1.3		1.7
徴収不能額	3,612	0.3	2,795	0.2	3,658	0.3	1,990	0.1	2,220	0.2		0.1
(予備費)												
消費支出合計	1,311,988	102.0	1,256,143	97.6	1,367,312	98.0	1,364,875	93.3	1,329,879	92.4		94.8
当年度消費収支差額	△ 97,654		△ 36,668		27,206		△ 21,468		△ 120,403			
前年度繰越消費収支超過額	△ 380,266		△ 477,920		△ 514,588		△ 318,463		△ 319,678			
基本金取崩額					168,919		20,253					
翌年度繰越消費収支超過額	△ 477,920		△ 514,588		△ 318,463		△ 319,678		△ 440,081			
人件費依存率		74.6		67.8		75.9		69.7		60.2		72.4
人件費比率		58.6		53.7		57.1		53.5		49.0		52.4
帰属収支差額比率		△ 2.7		2.4		2.0		6.7		7.6		5.2
消費収支比率		108.0		103.0		98.0		101.6		110.0		107.8

※全国平均は日本私立学校振興・共済事業団「今日の私学財政」大学法人（医歯系を除く）25年度

教育研究施設整備充実資金の募金について

本学は、50年に亘って「食と栄養」に関する教育研究活動を展開し、栄養、健康など食生活の分野において社会的貢献をしてきましたが、社会の変遷は急を告げ、少子高齢化社会を迎えるに至り、今や介護、医療、食育、食品衛生・安全性、食品開発などに対応する資質の高い人材が求められています。

本学におきましては、こうした社会的要望に応え大学としての社会的責任を果たしていくには、教育研究の更なる高度化推進を実現する必要があります。そのためには教育環境整備充実が急務となっています。しかし、少子化などの影響により、学生定員割れなどにより私学財政は厳しさが増してきており、施設設備の充実の資金には学生納付金、国庫補助金には限度があるので、資金の相当部分は在学生保護者、卒業生、教職員、民間企業など学園関係者からの寄附金に依存せざるを得ないのが実情です。

長引く不況を克服し、景気回復を目的とした安部政権のインフレ経済政策導入は、未だ十分に功を奏せず、国民の可処分所得の上昇と諸物価高騰のアンバランス状態が続く折、日常生活においても何かと出費ご多端なところ誠に恐縮に存じますが、事情ご賢察の上、何卒寄附募金にご協力下さいますようお願い申し上げます。

なお、この寄附募金には、所得税法上の所得控除が適用され、23年度の所得税法改正によって施行された控除率の高い「税額控除」が適用されますことを申し添えます。

募金要項

1. 目的：教育研究施設設備拡充資金に充当するため
2. 募金目標額：2千5百万円
3. 寄附金額：1口 5千円（2口以上をお願いします）
4. 募集期間：平成28年3月末まで
5. 申込書・振込方法：本学所定の用紙をご利用ください。

◎この寄附金は任意であります。何卒ご協力下さいませようをお願いいたします。

◎この募金は、所得税の寄附金税額控除の対象となります。詳細については下記にお問い合わせください。

学校法人東京聖栄大学事務局財務課募金係 TEL 03-3692-0211(代)

募金受入状況

平成17年度以降26年度までの募金受入状況は下表の通りです。

この募金は、別口座に積み立てられ募金の趣旨に則り、有意義に活用させていただきます。

年度	申込件数	金額 (円)
平成17年度	33	3,150,000
18年度	37	3,500,000
19年度	33	5,950,000
20年度	28	5,700,000
21年度	18	4,100,000
22年度	53	7,665,000
23年度	50	6,790,000
24年度	110	7,910,000
25年度	130	8,395,435
26年度	137	6,855,000
総計	629	60,015,435

東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園だより

わたなべ幼稚園は市内では数少ない自園式給食を活かした食育活動・指導を推進しています。

昨年改築工事を実施した新給食室は新しい調理機器やHACCP方式を入れた最新の施設・設備となりました。

改築工事終了に伴い12月に東京聖栄大学学生・教員との連携による食育として、アレルギーによる除去を必要としない、園児みんなが同じ献立で食することが出来るクリスマス給食にチャレンジいたしました。

行事食であり、また、様々なアレルギーに対応する献立は、これからの給食・献立作りに多大な可能性を与えました。

また、この機会を利用し、本年3月には園児保護者のみならず、近隣の住民の方への試食会も開催し、幼稚園運営のご協力を仰ぎました。

さらに、鎌ヶ谷市の食育推進部会に参加し、園児たちによる作品展テーマ「食育」を市内で発表出来たことは大きな成果となりました。大きな作品作りは大変でしたが、年少さん、年中さんそして年長さん達のそれぞれ年齢にあったがんばりで大きなラー

メンやオムライス、ハンバーグ、白菜、人参、大根などができました。食の三色群がどんな働きをするのか色々調べていました。

いろいろなものを見る・調べる・作る・すべて自分たちの成果として形になったことにとても喜んでいました。

食材への関心が増し、偏食克服に繋がる良い機会と思います。これからも作品作りに限らず、食の三原色への関心は育てて行きたいと思います。



東京聖栄大学附属調理師専門学校だより

本年度は平澤正男校長が退任され、新任に前東京聖栄大学学部長であった阿左美章治先生を校長に迎え、新たなスタートを切る事になった。

さらに、17年ぶりに本年4月1日より調理師法施行規則及び調理師養成施設指導要領が改正され、なお同日付で調理師養成指導、監督の事務権限が都道府県に委譲された。特に指導要領の改正においては、旧指導要領(別表1)における教科科目の教育内容が変更され、教育目標に沿った形で、各調理師養成施設の裁量により、教科科目を設定する事となった。

本校では毎年、併設の東京聖栄大学の食品学科(フードビジネスコース)の学生を調理技術研修生として受け入れており、8単位まで東京聖栄大学の授業との単位互換が認められるため、これを配慮した形でカリキュラム(別表2)を作り上げた。

これに伴い、教科書も新カリキュラムの教科目標に適

応したものに変更し、座学の授業においては、専任教員が担当する以外の大部分は、東京聖栄大学の先生方に御協力をいただき、より充実した形での調理師養成に向けたスタートを切る年となった。

別表2

教育内容	科目名	授業時間数	担当教員
食生活と健康 (90時間)	食生活論	30時間	阿左美章治(校長)
	食と環境	30時間	丸井正樹(大学教授)
	公衆衛生学	30時間	星野浩子(大学助教)
食品と栄養の特性 (150時間)	食と健康	30時間	阿左美章治(校長)
	食品学	60時間	荒木裕子(大学教授)
	栄養学	60時間	矢島克彦(大学助教)
食品の安全と衛生 (150時間)	微生物学概論	30時間	稲葉永治(副校長)
	食品衛生学	90時間	稲葉永治(副校長)
	食品衛生学実験	30時間	星野浩子(大学助教)
調理理論と食文化 (180時間)	調理学	60時間	野口栄(専任教員) 吉田光一(大学講師) 山田誠一(非常勤講師)
		30時間	谷川一夫(非常勤講師)
	食文化と料理	30時間	野口栄(専任教員)
		30時間	吉田光一(大学講師) 山田誠一(非常勤講師)
	調理実務	60時間	稲葉永治(副校長) 野口栄(専任教員)
調理実習 (300時間)	基礎調理実習	30時間	村上匡(専任教員)
	日本料理実習	90時間	野口栄(専任教員)
	西洋料理実習	90時間	村上匡(専任教員) 吉田光一(大学講師)
	中国料理実習	90時間	山田誠一(非常勤講師)
総合調理実習 (90時間)	サービスマナー実習	30時間	中富貴仁(非常勤講師)
	集団調理実習	30時間	野口栄(専任教員) 村上匡(専任教員) 山田誠一(非常勤講師)
		30時間	野口栄(専任教員) 村上匡(専任教員) 山田誠一(非常勤講師) 中富貴仁(非常勤講師)
総時間数		960時間	

別表1

規定教科科目	教科科目	総時間数	講義時間	実習時間
必修科目	食文化概論	30時間	30時間	
	衛生法規	30時間	30時間	
	公衆衛生学	90時間	90時間	
	栄養学	90時間	90時間	
	食品学	60時間	60時間	
	食品衛生学	120時間	90時間	30時間
	調理理論	150時間	150時間	
	調理実習	300時間		300時間
選択必修科目	調理実務演習	30時間	30時間	
	基礎調理実習	30時間		30時間
	マナー実習	30時間	22時間	8時間
	計	960時間	592時間	368時間

大学トピックス

平成27年度 栄養関係功労者厚生労働大臣表彰

平成27年度 栄養関係功労者厚生労働大臣表彰を本学教授阿左美章治先生が受賞されました。(平成27年度は東京都で2名)

阿左美先生は40年間の永きに亘り栄養士養成教育に専念し、数多くの栄養士、管理栄養士を輩出し、本学の発展と栄養士、管理栄養士養成のために多大なる貢献をされ、その功績が認められました。

9月27日(日)福岡国際会議場での全国栄養改善大会(主催:公益社団法人日本栄養士会 共催:一般社団法人全国栄養士養成施設協会)の席上、表彰を受けられました。



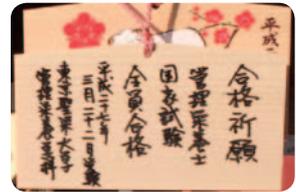
第29回管理栄養士国家試験合格率100%



卒業生による国試体験談



国家試験対策講座



祈願成就

開学10周年を迎えた今年、卒業7期生において、念願の合格率100%が達成できました。

この達成には受験生の頑張り努力はもとより、先生方の指導や種々の国家試験対策が大きな成果となりました。今後も学生の皆が合格できるようサポートしてまいります。

第1回かつしかふれあいRUNフェスタへの参加協力

平成27年3月8日(日)、堀切水辺公園(葛飾区堀切)において「第1回かつしかふれあいRUNフェスタ」が開催されました。

葛飾区教育委員会の協力依頼に対応し、地域貢献活動の一環として、本学バスケットボール部、フットサル同好会の学生19名が運営スタッフとして参加しました。同イベントは大学所在地である葛飾区での初めてのマラソン大会として実施され、全国から約4,700名のランナーが集結しました。

当日は、時折雨が降り、強い風が吹くあいにくの天候でしたが、本学学生は「ありがとうプロジェクト推進隊 (Team39)」として会場を盛り上げ、「ありがとうの輪」を広げるために来場者へのリストバンド配布、ハイタッチゾーンでランナーへ感謝の気持ちを伝える応援等を行いました。



平成28年度 東京聖栄大学 学生募集要項

東京聖栄大学 健康栄養学部(共学)/管理栄養学科・食品学科(募集定員は両学科とも80名)

入試区分	選抜方法	試験日
指定校制推薦入試	面接・調査書	11月1日(日)
公募制推薦入試Ⅰ期	適性テスト・面接・調査書	
公募制特別推薦入試		
卒業生子女等推薦入試	適性テスト・面接・志望理由書A・調査書	12月13日(日)
公募制推薦入試Ⅱ期	基礎学力検査・面接・調査書	
自己推薦入試Ⅱ期	基礎学力検査・面接・自己推薦書・調査書	

※公募制特別推薦入試は、専門高校・総合学科卒業生選抜入試です。
※各入試の詳細は本学ホームページ又は「平成28年度学生募集要項」で確認してください。

入試区分	選抜方法	試験日
一般入試Ⅰ期	学力試験・調査書	1月27日(水)
一般入試Ⅱ期		2月12日(金)
一般入試Ⅲ期		2月28日(日)
センター利用入試Ⅰ期	平成28年度大学入試センター試験成績・調査書	1月16日(土)
センター利用入試Ⅱ期		1月17日(日)
社会人特別入試	筆記(化学)・小論文・面接・調査書・経歴書	2月12日(金)
3月特別入試	学力試験・調査書	3月9日(水)

受験相談会

10/17(土)

11/28(土)

※11月7日(土)、8日(日)は聖栄葛飾祭(大学祭)にて受験相談コーナーを開設します。

■開催時間: 各回とも13:00~16:00要予約 ■当日の内容: 平成28年度入試の概要説明、個別相談、施設見学 他

<お問い合わせ先>

入試・広報課

TEL: 03-3692-0238(直通)

E-mail nyushi@tsc-05.ac.jp

発行 東京聖栄大学

〒124-8530

東京都葛飾区西新小岩 1-4-6

TEL: 03-3692-0211(代)

URL <http://www.tsc-05.ac.jp/>